

I 第24週の発生動向 (2014/6/9~6/15)

1. 感染性胃腸炎については、患者報告数が前週の216人から172人に減少しました。
2. 水痘については、むつ保健所管内で新たに**注意報**が発令されました。

II 第24週五類感染症定点把握

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、**警報・注意報**については青森県感染症発生動向調査 TOP ページをご覧ください。

疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		前週からの増減	東地方(再掲)		青森市(再掲)	
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		数	人/定点	数	人/定点
小児科 内科 (90) インフルエンザ															-2				
(79) RSウイルス感染症															-2				
(80) 咽頭結膜熱	7	0.9	2	0.2			1	0.2	1	0.2			11	0.3	0			7	0.9
(81) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4	0.5	10	1.1	19	1.9			13	2.2	2	0.5	48	1.1	16			4	0.5
(82) 感染性胃腸炎	47	5.9	6	0.7	42	4.2	10	2.0	18	3.0	49	12.3	172	4.1	-44			47	5.9
(83) 水痘	20	2.5	10	1.1	9	0.9	2	0.4	5	0.8	18	4.5	64	1.5	19			20	2.5
(84) 手足口病			1	0.1	1	0.1	2	0.4					4	0.1	3				
(85) 伝染性紅斑	4	0.5	3	0.3	4	0.4	1	0.2	1	0.2	1	0.3	14	0.3	-5			4	0.5
(86) 突発性発しん	4	0.5			9	0.9	2	0.4	5	0.8			20	0.5	-19			4	0.5
(87) 百日咳															-1				
(88) ヘルパンギーナ			3	0.3	1	0.1							4	0.1	-2				
(89) 流行性耳下腺炎			2	0.2	1	0.1			2	0.3	7	1.8	12	0.3	2				
眼科 (91) 急性出血性結膜炎															0				
(92) 流行性角結膜炎	1	0.5			5	2.5	1	1.0	4	2.0			11	1.0	3			1	0.5
基幹 (97) クラミジア肺炎															0				
(98) 細菌性髄膜炎															0				
(100) マイコプラズマ肺炎					2	2.0					5	5.0	7	1.2	4				
(101) 無菌性髄膜炎							9	9.0					9	1.5	5				
(82) 感染性胃腸炎 (ロタウイルス)											13	13.0	13	2.2	1				

は警報、は注意報。「空欄」:患者発生無し。

III 全数把握疾患 (掲載数は最新情報)

- (9) 結核(二類全数把握疾患): 東地方+青森市1人、弘前1人、八戸市4人、五所川原1人、上十三2人 (2014年計:147人)
- (18) E型肝炎(四類全数把握疾患): 八戸1人 (2014年計:1人)
- (37) つつが虫病(四類全数把握疾患): 東地方+青森市1人、八戸2人 (2014年計:7人)

IV 病原体検出情報

()内は、検査材料及び検体採取日、検出数です。

- ・無菌性髄膜炎患者(髄液、5/2~5/17)・・・エコーウイルス30型: 五所川原 (4)

感染症の窓

梅毒

(五類全数把握疾患)



梅毒トレポネーマの電子顕微鏡像 (国立感染症研究所 IDWR「感染症の話」)

梅毒は、スピロヘータの一種である梅毒トレポネーマの感染によって生じる性感染症です。性行為または類似の行為による直接感染(後天梅毒)と、罹患した母体から胎盤を通じて胎児が感染する場合(先天梅毒)があり、種々の全身症状を引き起こします。

感染症法では五類全数把握疾患に分類されていますが、全国における2013

年の梅毒報告数は1220人で前年の約1.4倍と、ここ5年間で2倍近くに増えていきます(図1)。今年(2014年)は第23週現在で630人の報告数です。

本県における報告数は、2006年以降、0~8人の範囲で推移していますが(図1)、今年(2014年)は第24週現在で3人の報告があります。

好発年齢は成人で、男性に多いとされていますが、本県の2011年から2014年第23週までの報告においても、男性がやや多く(男性13人、女性8人)、年齢層別では30歳代の男性にピークがあります(図2)。

本疾患の第1選択剤はペニシリン系抗生物質です。予防としては、感染者、特に感染力の強い第1期、2期(後天梅毒は4期に分けられる)の感染者との性行為および類似行為を避けることが基本であり、感染の可能性がある人及び妊婦は必ず健診を受け、早期発見に努めることが重要です。



図1 過去8年間の梅毒報告数推移

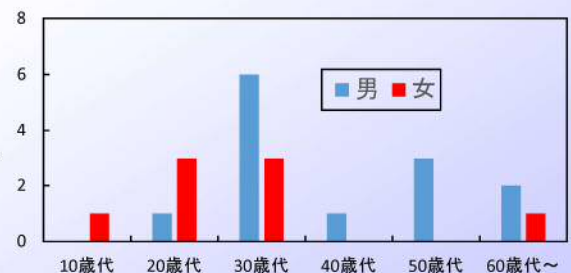


図2 本県における性別・年齢別報告数(人) (2011年第1週~2014年第23週)

V 保健所管内別全数把握疾患発生状況（2014年第8週～第24週）

週	期間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
8	H26.2.17 ~ H26.2.23	劇症型溶血性レンサ球菌感染症1人					
9	H26.2.24 ~ H26.3.2						
10	H26.3.3 ~ H26.3.9						
11	H26.3.10 ~ H26.3.16		急性脳炎1人 侵襲性肺炎球菌感染症1人	急性脳炎1人			
12	H26.3.17 ~ H26.3.23		アメーバ赤痢1人				
13	H26.3.24 ~ H26.3.30						
14	H26.3.31 ~ H26.4.6	アメーバ赤痢1人					
15	H26.4.7 ~ H26.4.13	侵襲性肺炎球菌感染症1人					
16	H26.4.14 ~ H26.4.20	急性脳炎1人	梅毒1人				
17	H26.4.21 ~ H26.4.27			A型肝炎1人			
18	H26.4.28 ~ H26.5.4			急性脳炎1人 梅毒1人			
19	H26.5.5 ~ H26.5.11			アメーバ赤痢1人		後天性免疫不全症候群1人	
20	H26.5.12 ~ H26.5.18		つつが虫病1人	アメーバ赤痢1人			
21	H26.5.19 ~ H26.5.25	侵襲性肺炎球菌感染症1人		梅毒1人			
22	H26.5.26 ~ H26.6.1	つつが虫病1人	後天性免疫不全症候群1人	破傷風1人			
23	H26.6.2 ~ H26.6.8		侵襲性肺炎球菌感染症1人	つつが虫病1人 レジオネラ症1人	つつが虫病1人		
24	H26.6.9 ~ H26.6.15	つつが虫病1人		E型肝炎1人 つつが虫病2人			

VI 結核(二類全数把握疾患) (2014年第14週～第24週)

単位：人

週	期間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
14	H26.3.31 ~ H26.4.6	2	1	4		1	
15	H26.4.7 ~ H26.4.13	1	2			1	
16	H26.4.14 ~ H26.4.20	2	4	2	2	1	1
17	H26.4.21 ~ H26.4.27	2	1	2	3		
18	H26.4.28 ~ H26.5.4	1		4			
19	H26.5.5 ~ H26.5.11	1					
20	H26.5.12 ~ H26.5.18		1	2	1		
21	H26.5.19 ~ H26.5.25	3	1	1	1	2	
22	H26.5.26 ~ H26.6.1	1		1			1
23	H26.6.2 ~ H26.6.8	2	4		1		
24	H26.6.9 ~ H26.6.15	1	1	4	1	2	

VII 全数把握疾患発生状況(全国-青森県)

(注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています)

全国

(2014年第1週～第22週累計)

分類	二類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	
疾病名	結核	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノкокス症	オウム病	Q熱	コクシジオイテス症	重症熱性血小版減少症候群	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	ブルセラ症	ポツリヌス症	マリア	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	
累積報告数	9780	44	433	19	6	59	342	4	6	1	1	13	4	66	68	34	4	1	25	379	6	438	
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	
疾病名	ウイルス性肝炎	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルトヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	先天性風しん症候群	梅毒	破傷風	ハンコマイン耐性腸球菌感染症	風しん	麻しん							
累積報告数	102	213	9	64	107	563	28	92	16	932	8	586	40	22	207	352							

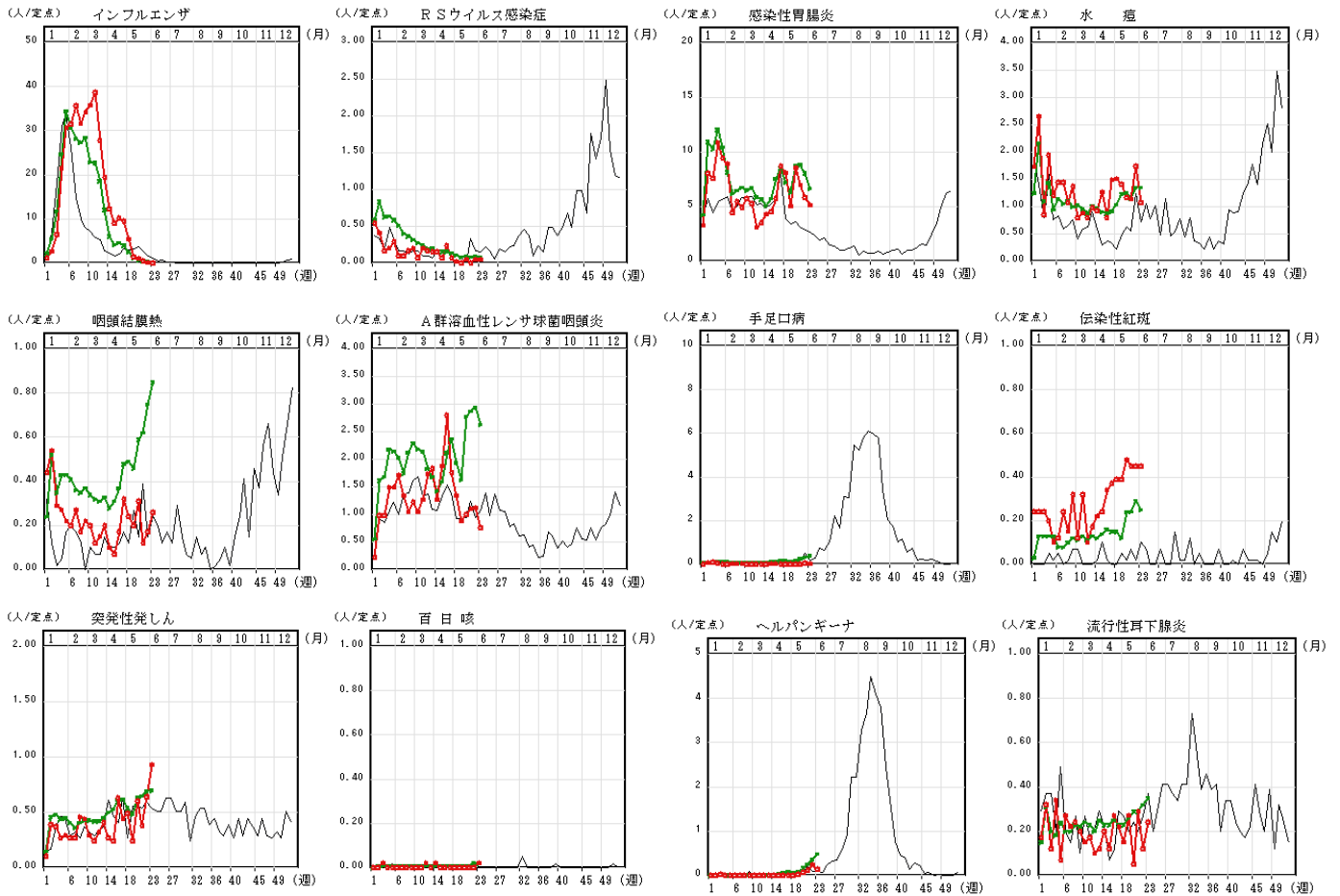
青森県

(2014年第1週～6月16日16:30累計)

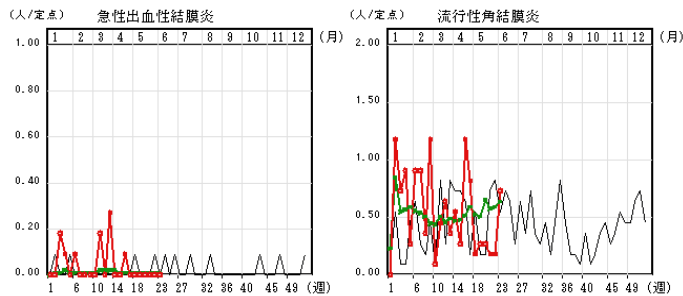
分類	二類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	E型肝炎	A型肝炎	つつが虫病	レジオネラ症	アメーバ赤痢	急性脳炎	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵襲性肺炎球菌感染症	梅毒	破傷風	
累積報告数	147	1	1	7	2	5	8	1	2	5	3	1	

VIII インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移 (2014年第23週)

グラフの説明 ○—○は2014年青森県、—は2013年青森県、×—×は2014年全国



IX 眼科定点把握疾患週別推移 (2014年第23週)



X 基幹定点把握疾患週別推移 (2014年第23週)

